

公共事業再評価調書（再々評価）

主管課： 河川課

1 事業概要 (整備目的)	事業名： 安謝川基幹河川改修事業		前再評価年度：平成10年度		
	事業種別： 基幹河川改修事業	事業主体： 沖縄県	(S47 ~ H27)		
	事業箇所： 那覇市、浦添市	根拠法令： 河川法	事業期間： S47 ~ H27		
	総事業費(百万円)： (11,427) 12,267	費用内訳： 補助 9/10	事業量(m) (3,600) 3,600		
1-2 前再評価以降の計画変更	用地単価等を見直し全体事業費の変更を行った。				
2 再評価該当項目	<input checked="" type="checkbox"/> ① 再評価後一定期間（5年）を経過 <input type="checkbox"/> ② 事業の中止 <input type="checkbox"/> ③ その他（ ）				
3 再評価に至った主な要因 (具体的理由)	<input type="checkbox"/> ① 用地取得の困難 <input type="checkbox"/> ② 調査・設計の困難 <input type="checkbox"/> ③ 事業の拡大 <input type="checkbox"/> ④ 予算の確保 <input type="checkbox"/> ⑤ 手続き・法令の問題 <input type="checkbox"/> ⑥ 他事業との関係 <input type="checkbox"/> ⑦ 整備効果の問題 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧ 当初計画が長期間 <input type="checkbox"/> ⑨ その他（ ） 事業期間が44年間と長期間であるため。				
4 事業の進捗状況 (H15.3 時点)	項目	事業費(百万円)	整備 (km)	用地取得(千㎡)	
	計画	12,267	3.60	23.5	
	実施済	7,162	2.50	20.9	
	率	58 %	69 %	89 %	
4-2 前再評価以降の主な進捗	浦添市内間地区などにおいて、親水性護岸等、約450mの河川整備を行った。				
5 事業効果の評価指標 (検討年 整備期間+50年) (基準年 H15) (単位: 百万円)	① 一般資産	99,993	① 建設費	12,267	
	② 公共土木施設等	169,388	② 維持管理費	4,122	
	③ 間接被害額	10,228			
	④				
	便益(B)	279,609	費用(C)	16,389	
	基準年換算 (B)	128,719	基準年換算 (C)	16,838	
	費用便益比 (B/C) = 128,719 / 16,838 = 7.6				
6 事業を巡る状況の変化 (前再評価以降)	① 社会・経済： 真嘉比・古島第2地区の土地区画整理事業が進められており、早期整備の必要がある。 ② 地元・自治体： 集中豪雨等による浸水被害が多発していることから早期改修の要望がある。 ③ 利害関係者： 用地買収が難航している地権者がいる。				
7 事業の必要性・効率性	① 事業の必要性・緊急性・有効性など： 安謝川流域は資産価値が高く、近年は集中豪雨等による浸水被害が多発し、地元からは早期整備の要請等もあることから、早期整備を図る必要がある。 ② 事業の効率性(代替案等の可能性)： 用地取得率 89%、整備率 69%と事業は進捗しており、現計画を推進する。 ③ 事業効果の発現状況： 計画延長3.6kmのうち、平成14年度までに河口から宇久増橋までの約2.3kmを完了し、浸水被害が解消された。平成10年からの五カ年では、浦添市西公園付近について都市計画街路事業と連携した整備で街づくりに寄与した。また公園との一体的利用を図るため整備した親水性護岸は、地域住民の憩いの場として利用されている。				
8 今後の対応方針・見通し	① 事業計画等： 今後の五カ年で宇久増橋から国道330号までの区間の整備を予定しており、平成27年度の完成を目指す。 ② 対住民関係： 用地難航箇所は、自治会および地元自治体の協力を得て鋭意用地買収に努める。 ③ 執行体制等： 現在の組織体制で特に問題なし。				
9 評価	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業継続(現計画) <input type="checkbox"/> ② 事業継続(見直し) <input type="checkbox"/> ③ 事業の中止				
10 その他 (前再評価での主な意見等)	当該事業は平成10年度には抽出審議されていない。				